開倫塾ニュース2012月1月号巻頭言	2011年11月7日

11 月 14 日から 12 月 13 日までは、開倫塾の書き写しと書き取り、計算練習月間です。

「書き写しと書き取り練習、計算練習で学力の定着を」

―12 月模試と 11・12 月定期テストで高得点を取るために―

開倫塾
塾長 林　明夫

Q：「音読練習月間」の次は、「書き写し、書き取り練習、計算練習月間」ですか。開倫塾では、なぜこのような強化月間を設けているのですか。

A：(林明夫：以下省略)

(1)開倫塾にせっかく入塾なさったのであれば、開倫塾の先生方の授業で「うんなるほど」と十分に「理解」したことをスミからスミまで身に付けて、学校の定期テストでよい点を取り、学校の成績を上げてもらいたい、自分の行きたい学校に合格できるだけの偏差値を確保し、希望校への合格を果たしてもらいたいと、私を含めた開倫塾のすべての先生が願っているからです。

(2)学力向上のためには、学校や開倫塾の先生方の授業をしっかり聴くこと、授業中にノートをしっかり取ること、わからないことばは必ず辞書で調べて意味をノートに書き写し、一つ一つのことばの意味を覚えることが欠かせません。これを、開倫塾では「理解」と呼びます。しっかりとやって下さいね。

(3)ただ「理解」しただけでは、成績はあまり上がりません。成績を上げるためには、「理解」したこと、具体的に言えば、教科書と授業中に取ったノート、それから意味調べをしたノートをスミからスミまで丸ごと覚えて身に付けることが大事です。これを、開倫塾では「定着」と言います。

(4)この「定着」のためには、次の 3 つの練習が欠かせません。

①第一は、教科書や授業中に取ったノート、意味調べをしたノートを何回も何十回も何百回も声を出して読む練習です。これを、開倫塾では「音読練習」と言います。

②「音読練習」の第一の目標は、教科書やノートがスラスラ正確に読めるようにすることです。

③「音読練習」の第二の目標は、何も見ないでスラスラ言えるようにすることです。これを「暗誦(あんしょう)」と言います。

④先日の調査で、教科書やノートをスラスラ読めるまでにした塾生の多くは、偏差値 55 以上、60 以上を取っていることがわかりました。

⑤偏差値 55、60 突破の第一の方法は、教科書や授業中に取ったノート、意味調べをしたノートがスラスラ読めるようになるまで声を出して読む練習、つまり「音読練習」であると考えます。

だからこそ、開倫塾では 10 月 12 日から 11 月 13 日までの 1 か月間を「音読練習月間」として、63 校舎すべてで「音読練習」に取り組んだのです。

⑥「音読練習」を身に付けたらどうするか、「定着」のために次にやるべきことは「書き写し」と「書き取り練習」、「計算練習」です。これを 11 月 14 日から 12 月 13 日までの 1 か月間集中的に練習し、十分に「理解」した内容、スラスラよく読めるまでになった「教科書」と「授業中のノート」「意味調べノート」を「スミからミスまで」完全に「書ける」ようにして下さい。

⑦きちんとやりさえすれば、定期テストで 100 点満点が取れるようになり、模擬試験で偏差値が 50 以上、60 以上、70 以上と驚くほどどんどん上昇します。

Q：どうすればよいのか、具体的に教えて下さい。

A：(1)「書き写し」は、教科書や教材、ノートを別のノートにひたすら「書き写す」、どんどん、どんどん「書き写す」ことです。「不得意科目」には、もってこいの勉強の仕方です。5 科目中不得意な 2 科目について、ひたすら「書き写す」。「書き写した」ものは必ず、スラスラ読めるようになるまで「音読練習」をして下さいね。できれば丸暗記して下さいね。是非、お試しを。必ず成績が上がります。

(2)「書き取り練習」はどうするか。書けそうにない語句を、よく書けるようになるまで何回でも書いて覚える。

(3)特に、「～は～だ」という大切な「ことばの意味(定義)」や「公式」、大切な「表」や「図」、「数字」は書いて覚える。

(4)マークシートで出題されるから書けなくてもよい、書き取り練習は不要だ、まして図や表まで覚えることはないとお考えの方もいますが、「理解」したことはすべて正確に書けるまでにしておいたほうが知識はしっかりと身に付きます。

(5)面倒がらずにすべて「丸暗記」し、書けるまでにして下さいね。つらくても、今のうちにスラスラ読め、正確に書けるまでにしておけば、上の学年や上級学校、社会に出てからもあまり忘れることはありません。

(6)しっかりと身に付けたものは、ことわざに「三つ子の魂百まで」とあるように、たとえ忘れても少し勉強し直せばすぐに思い出します。一生死ぬまで役に立ちますよ。勉強というのはそういうものです。

Q：最後の「計算練習」はどのようにしたらよいのですか。

A：(1)なぜそのような答え・解答になるのか、その理由が「うんなるほど」とよく「理解」できた「計算」は、その「問題」を見た瞬間に条件反射でパッ、パッ、パッと正解が出せるように、何回も何回も繰り返して同じ問題をやってみること。これが「計算練習」です。

(2)例えば、「2+3」はどのような意味であるかがよく「理解」でき、なぜ「5」という答えになるかが「うんなるほど」とよく「理解」できたら、「2+3」という計算問題を見た瞬間にパッ、

パッ、パッと「5」と答えが出るまで何回も練習を繰り返すことです。

(3)学校の教科書や問題集、開倫塾のテキストや問題集に出ているすべての計算問題について、この「計算練習」をしてみて下さいね。

(4)ただし、問題の意味となぜそのような答えになるのかが「うんなるほど」とよく「理解」できた計算問題に限ります。問題の意味やなぜそのような答えになるのかがわからないのに、答えだけ覚えてもあまり意味はありません。

(5)わからないものがあったら、学校や開倫塾の先生に遠慮なく質問して下さいね。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)以上が、開倫塾の約 7000 名の塾生の皆様全員に、11 月 14 日から 12 月 13 日までの 1 か月間にやっていただきたい「書き写し」「書き取り練習」「計算練習」の内容です。

(2)これら 3 つは、模試や定期テスト、英検や漢検、大学のセンター入試や私立学業特待入試、中高一貫校入試はじめ、ありとあらゆる試験に役立ちます。普段の勉強にも役立ちます。

(3)開倫塾で塾生の皆様にお示ししている勉強の仕方、つまり「学習の 3 段階理論」は、上級学校や社会に出てから新しいことを学び身に付けるときにも役立ちます。是非、開倫塾で勉強している間に一生役に立つ勉強の仕方をきちんと身に付けて下さいね。それが、私をはじめ開倫塾すべての先生方の願いです。開倫塾設立の理念、社会的使命です。

―2011 年 11 月 7 日東京～上海上空にて記す―